

2011-11

学会通信

平成 23 年 11 月 8 日

NO.73

工業経営研究学会
Association for the Study of
Industrial Management (Japan)

会長就任の挨拶

羽石 寛寿 (摂南大学)

このたび、9月2日から4日まで摂南大学で開催されました第26回全国大会の新理事会におきまして、次期会長に選任され、希望とその責任の重さをヒシヒシと感じております。

この春3月11日に起こりました東日本大震災では、ものづくりに関わる多くの中小企業が被災し、国内、海外の多くの企業に対しても多くの影響を与えました。それ以後、遅々として回復の兆しが見えない状態が続いており、工場の生産シフトの組み換えや海外移転、国内移転、またリストラ等いろいろな対応をしながらこの難局に立ち向かっているのが現状かと思われまます。さらに、10月にはタイの首都バンコクやアユタヤを含めた大洪水が起こり、多くの企業団地が浸水し日本企業にも大きな被害を与えました。

恐らく震災も水害も、企業が回復するにはかなりの時間を要することでしょう。私も6か月が経った東北の被災地を訪問してきましたが、中小企業の多くは回復に向け必死の努力をしているところでした。

このような状況の中、「工業経営研究学会は何ができるのか」、「何をしなければならないのか」と強く心に感じた次第です。工業経営研究学会の使命として、設立趣意書に示されていますように、「理論と実践の緊密な相互作用や学際的研究など異種専門家の交流を通じた革新的工業経営の研究および研究成果の普及」が強く期待されています。このように「工業経営研究学会」が社会で広く理解されるためには、社会で起きている問題を取り上げ、それらの問題解決に貢献できる研究を行うことが必要であります。

大震災や大水害の後“ものづくり日本”を支えてきた中小企業の低迷が続くなかで、今こそ「産と学の連携」による「工業経営研究学会」として企業経営に対する適切な助言をだしていくことが重要ではないでしょうか。

このような時であるからこそ「工業経営研究学会」のこれからの3年間のテーマを「工業経営研究と日本企業の再興」とします。是非、会員諸氏の心、各専門分野の研究、研究の成果を再興に向けて傾注していただき、日本再興の一助となれるよう学会として貢献したいと願っております。

また、前学会長が拓いてくれた路線を引き継ぐとともに、新しい風を吹き込むことが私ならびに新理事そして新事務局への課題でもあります。「工業経営研究学会」の運営については健全な運営と魅力ある学会を持続していくために、財務の見直し、学会誌の見直し、法人(企業人)会員の増大、若手会員の増大、地方部会の活性化、産学共同研究の充実に取り組んでいく所存です。

これらの事を心にとめて、微力ではありますが新理事の皆さんと共に協力し合いながら学会発展のために尽力する所存です。会員の皆様のご支援とご協力を衷心よりお願い申し上げます。

第 26 回全国大会の報告

第 26 回全国大会実行委員長 黒澤敏朗（摂南大学）

2011 年の全国大会は 9 月 2 日から 4 日にかけて、摂南大学寝屋川キャンパスで開催されました。3 月に発生した東日本大震災の影響で参加者の減少が懸念される中、予想を上回る 95 名もの会員にご参加いただきました。2 日の（株）イシダ滋賀事業所の見学会には 27 名が参加され、ユニークな「見える化」などについての取り組みを見学させていただきました。

しかし、ご承知の通り、その時期には紀伊山地に大きな被害を及ぼした台風 12 号が接近しており、研究報告や特別講演など、多彩なプログラムが予定されていた 3 日と 4 日の両日は、大阪府下には暴風雨警報が発令されていました。学期中であれば授業が休講となるような状況でしたので、学会も開催が危ぶまれましたが、近隣の公共交通機関は定時運行していたこともあり、ほぼ予定通り開催することができました。しかし、欠航や運行中止になった遠距離交通機関もあり、大阪まで来ることができずに見学や報告を取りやめられたケースもありました。また、2 件を予定していた特別講演うちの 1 件や懇親会は参加者の安全を考慮して、やむなく中止させていただきました。なお、報告できなかったケースでも、予稿集には論文が掲載されていますので、今回の事情を考慮して、次号の学会誌に投稿する場合には報告済みと同じ扱いをしていただけることになっています。もちろん、同じ内容を分科会や地方部会で報告し、議論を重ねた後に投稿されることが望ましいことはいまでもありません。

ほぼ予定通り開催できたとはいえ、リスク管理の観点からは不安な面が明らかになりました。それは 3 年ごとに行われる理事選出選挙についてです。本学会は「総会で選挙（投票）する」規約になっていますので、3 日には総会が開催され、理事選挙も無事に行われたのですが、もし当日、台風がほんの少し東に進んでいたら、風雨はより強くなり、交通機関は停止して会員は会場まで行くことができず、総会・選挙どころではなくなります。その結果、理事を選ぶことができず、再度総会を招集しなければならない事態に至ります。そのため、自然災害によるリスクを避けるためにも、郵送による理事選出投票の実施を検討する必要があると思います。

最後になりましたが、見学先の（株）イシダ滋賀事業所の皆様、特別講演をしていただきました幸福米穀（株）の北本明会長、そして強風の中を参加していただきました会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

次回の開催地は佐賀大学の予定です。九州でお会いして親交を深められることを楽しみにしております。

2011 年 工業経営研究学会 第 26 回全国大会 理事会

9 月 2 日、工場見学会（株式会社イシダ 滋賀事業所）の後に、メルパルクホテル京都において午後 6 時から 8 時 30 分まで理事会を開催し、第 26 回全国大会会員総会での審議・報告事項等について審議を行った。

2011年 工業経営研究学会 第26回全国大会 会員総会

台風の影響で特別記念講演の一つがキャンセルされたことから、会員総会の開催時間を繰り上げ、3時から5時30分まで開催された。

会員総会に先立って、本学会創設時から学会の発展にご尽力され、今年2月19日にご逝去された海道進名誉会員への黙とうが行われた。

〈審議事項〉

① 理事・監事選挙

選挙に先立って、選挙管理委員会（野村重信理事を委員長とし、副委員長を小泉国茂理事ほか開票作業要員6名の会員）について総会の場で承認され、東日本5名、西日本5名連記の投票による理事選挙が行われた。

その結果は、総会途中で委員長から報告があり、以下の会員が第9期理事として選出された。

東日本	西日本
秋野晶二(立教大学)	羽石寛寿(摂南大学)
大平義隆(北海学園大学)	近藤高司(愛知工業大学)
藤原篤志(駒澤大学)	中川誠士(福岡大学)
田中史人(国土舘大学)	中瀬哲史(大阪市立大学)
林 正樹(中央大学)	岡田行正(広島修道大学)

学会内規に基づき、理事会提案として、以下の監事が提案され、承認された。

学会監事 風間信隆 会計監事 小泉国茂

② 2010年度事業報告、決算報告、監査報告

会長から2010年度の事業報告として、1) 昨年8月末の台湾国際大会の実現、2) 学会20周年記念出版事業の3冊目の出版事業、3) 会員の拡大に努め、(院生会員を含む)300名を超えるまでに会員数が拡大したこと、次期執行体制においては正会員のみでの300名を超える会員の拡大が次の目標となること、3) 学協会サポートセンターとの協力体制が格段と進み、会費徴収・事務体制が整備されたことの報告があった。

さらに事務局より2010年度決算(資料-1)の報告があり、山口会計監事欠席のため、羽石学会監事から監査報告が行われ、2010年度決算は承認された。

③ 2011年度中間決算報告

事務局より3月11日開催の理事会において理事会で補正予算(資料-2)が承認されたことが、資料に基づいて報告されるとともに、8月15日現在の予算執行状況(資料-3)について報告があり、承認された。

④ 2012年度事業計画、予算

2012年度事業計画については、次期体制の方針が尊重されるべきこと、会計年度・理事任期と全国大会の開催時との時間的ずれに伴う問題点が報告されつつ、前年度の予算をベースとした2012年度の事業計画、予算(資料-4)が報告され、承認された。

⑤ 「工業経営賞」・「産業貢献賞」の授与について

以下の方々への授与について説明があり、承認された。

工業経営賞

幸福米穀株式会社社長・北大阪商工会議所会頭 北本 明 殿

ハードロック工業株式会社 代表取締役社長 若林克彦 殿

産業貢献賞

プノンペン SEZ CO. LTD Managing Director 上松祐士 殿

〈報告事項〉

- ① 会員の異動について、以下のように報告があった。

総会員数：326名(名誉会員：3名、正会員：268名、院生会員55名)

新入会員(計18名)

正会員(計10名)

蔡 櫻鈴(台湾・国立暨南国際大学)、魏 聰哲(中華經濟研究院 第三研究所)

篠原 健(追手門学院大学)、河邑 肇(中央大学)、堺 昭生(深江ワカゲイルッチ)

三宅 康博(ONC)、佐伯 靖雄(立命館大学)、田中 望(八戸短期大学)

藤井 勝紀(愛知工業大学)、阪本 亮一(利脳深耕研究所)

院生会員(計8名)

藤木 寛人(大阪市立大学大学院)、康 孜菲(愛知工業大学大学院)

周 翠(愛知工業大学大学院)、永田 淳次(追手門学院大学大学院)

稲元 洋輔(摂南大学大学院)、宇山 翠(中央大学大学院)

小田 利広(大阪市立大学大学院)、江 小涛(作新学院大学大学院)

退会会員(計5名)

正会員 塩見 法弘(甲子園大学)、山内 昭(尾道大学)、加賀 壽(室蘭工業大学)

一楽 信雄(武蔵大学)、永岡 幸祐(高齢者総合福祉施設なだの郷)

- ② 生産経営賞の授与について

会長から生産経営賞について、株式会社イシダ・滋賀事業所ほか3件の授与について報告があった。

- ③ 第27回全国大会について

2012年度全国大会開催校が佐賀大学であることが報告され、開催予定校を代表して、佐賀大学の羽石寛志会員からご挨拶があった。

- ④ 学会賞等の審査結果

学会賞・研究奨励賞選考委員会の表委員長より学会賞・研究奨励賞の選考過程について報告があり、2011年度については、以下の会員に学会賞1件を授与することが理事会で承認されたことが報告された。

受賞対象者：平松茂美会員

受賞対象作品：『モジュール化グローバル経営論』(学文社刊、2011年)

- ⑤ 内規の改正について

1)「工業経営研究」誌の頒布についてのルールがこれまで明確でなかったため、ここに内規第16条を改訂し明記する。

現
(本会出版物の複写権)

第 16 条

- (1) 略
- (2) 略
- (3) 略

改訂案
(本会出版物の複写権と頒布)

第 16 条

- (1) 略
- (2) 略
- (3) 略

(4)「工業経営」誌の追加頒布を会員が希望する場合、会員以外の者で頒布を希望する場合、学会事務局に申し出、残部のある場合頒布を受けることができる。その場合の頒布価格は、送料を含めて 4,000 円とする。

2) 内規の誤植訂正について

現
第 4 条 理事及び会社監事の選出方法は
次のとおりとする。

改訂案
第 4 条 理事及び監事の選出方法は
次のとおりとする。

- ⑥ 研究分科会のうち、グローバリゼーション分科会主査の野村重信理事から分科会の海外調査活動について報告があり、さらに今後、分科会所属会員の把握と海外視察プログラムの周知方法についてさらに検討した旨の報告があった。
- ⑦ 学文社田中社長より、20 周年記念出版事業の販売状況について説明があり、販売のご協力依頼があった。

資料-1

2010年度 工業経営研究学会決算（2010年1月1日～12月31日）（単位：円）

収入の部	決算額	備考
会費収入	2,307,790	※1
著作権収入	18,495	
利息収入	901	
その他の収入	42,000	※2
小計	2,369,186	
前期繰越金	2,378,468	
計	4,747,654	

支出の部	決算額	備考
学会事務委託費	335,022	学協会サポートセンター委託料他 ※3
全国大会補助費	250,000	
地方部会補助費	70,560	
分科会補助費	0	
理事会費	34,530	
各種委員会業務費	0	
学会誌発行費	856,800	第24巻発行費
名簿作成積立金勘定繰入	50,000	
郵便通信費	168,535	会費・ニュースレター・工業経営研究等 ※4
賞典費	78,040	
事務局費	18,902	
振込費（銀行振込手数料）	7,521	
印刷費	58,015	ニュースレター印刷費 ※5
20周年記念出版事業	1,052,730	
特別事業積立金勘定繰入	500,000	
経営関連学会協議会年会費	30,000	
予備費	0	
小計	3,510,655	
次期繰越金	1,236,999	
計	4,747,654	

※1 正会員 270人×8千円≒2,145,400円 院生会員 15人×4千円≒196,000円

計 285人 2,341,400円－諸雑費 33,610円＝2,307,790円

※2 その他の収入：学会誌執筆超過分実費（第23巻）

※3 学協会サポートセンター委託料＋各種手数料

※4 学協会サポートセンター送料を含む

※5 学協会サポートセンター委託印刷費を含む

特別事業積立金（2010年1月1日～12月31日）（単位：円）

収入の部			支出の部		
2010年1月1日	前期繰越金	154,404			
2月22日	受取利息	5			
3月15日	積立金繰入	500,000			
8月23日	受取利息	97	2010年12月31日	次期繰越金	654,506
	合計	654,506		合計	654,506

名簿作成積立金勘定（2010年1月1日～12月31日）（単位：円）

収入の部			支出の部		
2010年12月20日	積立金繰入	50,000			
				次期繰越金	50,000
	合計	50,000		合計	50,000

資料-2

2011年度 工業経営研究学会補正予算(2011年1月1日~12月31日)

収入の部	予算額	備考
会費収入	1,972,000	※1
著作権収入	20,000	
利息収入	4,000	
雑収入	30,000	※2
その他の収入	0	
小計	2,026,000	
前期繰越金	1,236,999	
計	3,262,999	

支出の部	予算額	備考
学会事務委託費	350,000	学協会サポートセンター
全国大会補助費	250,000	
地方部会補助費	75,000	
分科会補助費	40,000	
理事会費	80,000	
各種委員会業務費	60,000	
学会誌発行費	700,000	第25巻発行費
名簿作成積立金繰入	50,000	(累計額:100,000)
郵便通信費	200,000	会費・ニュースレター・工業経営研究等
賞典費	50,000	
事務局費	80,000	
振込費(銀行振込手数料)	10,000	
印刷費	80,000	ニュースレター印刷費
特別事業積立金繰入	150,000	
経営関連学会協議会年会費	30,000	
予備費	30,000	
小計	2,235,000	
次期繰越金	1,027,999	
計	3,262,999	

※1 会費納入者数は、実際の会員数×0.85(小数点切り捨て)

正会員:261×0.85≒222 院生会員:49×0.85≒42 法人会員:0

222名×8,000円=1,776,000 49×4,000=196,000

※2 雑収入:学会誌執筆超過分実費(第25巻)

資料－ 3

2011 年度 工業経営研究学会予算執行状況(2011 年1月1日～8 月 15 日)

収入の部		備考
会費収入	1,724,000	※1
著作権収入	0	
利息収入	165	
雑収入	46,800	※2
その他の収入	0	
小計	1,770,965	
前期繰越金	1,236,999	
計	3,007,964	

支出の部		備考
学会事務委託費	185,565	学協会サポートセンター
全国大会補助費	250,000	
地方部会補助費	72,480	
分科会補助費	0	
理事会費	33,280	
各種委員会業務費	0	
学会誌発行費	0	第 25 巻発行費
名簿作成積立金繰入	50,000	(累計額:100, 000)
郵便通信費	62,360	会費・ニューズレター・工業経営研究等
賞典費	0	
事務局費	0	
振込費(銀行振込手数料)	4,565	
印刷費	44,648	ニューズレター印刷費
特別事業積立金繰入	150,000	
経営関連学会協議会年会費	0	
予備費	0	
小計	852,898	
次期繰越金	2,155,066	
計	3,007,964	

※1 会費納入状況正会員 173 名×8,000 円=1,604,000 円 36 名×4,000 円=144,000 円
計 1,748,000 円 - 支払経費 24,000 円 =1724000 円

※2 雑収入:学会誌執筆超過分実費(第 25 巻)

資料－ 4

2012年度 工業経営研究学会予算(2012年1月1日～12月31日)

収入の部	予算額(円)	備考
会費収入	2,000,000	※1
著作権収入	20,000	
利息収入	4,000	
雑収入	30,000	※2
その他の収入	0	
小計	2,054,000	
前期繰越金	1,027,999	
計	3,081,999	

支出の部	予算額(円)	備考
学会事務委託費	350,000	学協会サポートセンター
全国大会補助費	250,000	
地方部会補助費	75,000	
分科会補助費	40,000	
理事会費	80,000	
各種委員会業務費	60,000	
学会誌発行費	700,000	第26巻発行費
名簿作成積立金繰入	50,000	(累計額:150,000)
郵便通信費	200,000	会費・ニュースレター・工業経営研究等
賞典費	50,000	
事務局費	80,000	
振込費(銀行振込手数料)	10,000	
印刷費	80,000	ニュースレター印刷費
特別事業積立金繰入	150,000	(累計額:954,564)
経営関連学会協議会年会費	30,000	
予備費	30,000	
小計	2,235,000	
次期繰越金	846,999	
計	3,081,999	

※1 会費納入者数は、実際の会員数×0.85(小数点切り捨て)

正会員:268名×0.85≒227名(正会員会費納付見込み者数) 227名×8,000円=1,816,000円

院生会員:55名×0.85≒46名(院生会員会費納付見込み者数) 46名×4,000円=184,000円

※2 雑収入:学会誌執筆超過分実費(第26巻)

学会誌編集委員会からのお知らせ

1. 学会誌『工業経営研究』第26巻に掲載する自由投稿論文の原稿を募集致しております。投稿要領については、『工業経営研究』第25巻の「7.自由投稿論文に関する規定」(193頁)をご参照下さい。
2. 第26回全国大会(於:撰南大学)、各地方部会、研究分科会においてご報告された方を対象に、学会誌『工業経営研究』第26巻に掲載する論文の原稿を募集致します。投稿要領については、『工業経営研究』第25巻の「『工業経営研究』編集規定」(191-192頁)をご参照下さい。なお、全国大会当日、暴風警報発令のため報告できなかった方で、予稿集に報告要旨が掲載された方は報告されたものとみなします。
3. 各部会において発行された Working Paper 一覧をご連絡ください。『工業経営研究』第25巻の例(188-190頁)を参考にして、部会において発行した Working Paper 一覧を取りまとめて、その抄録(200字程度)を送付して下さい。

いずれの場合も、送付期限は2012年3月31日(土)【必着・厳守】です。期限を過ぎますと投稿資格を失いますので、十分にご注意ください。

原稿は、プリントアウトした原稿(必要部数)と原稿データを保存したCD(使用OS名、作成アプリケーションソフト名、論文題名、所属、氏名を明記のこと)を添えてご郵送ください。

尚、レフリーによる審査が必要な論文につきましては、送付期限後に取りまとめて審査を行うこととなります。送付期限前に原稿をご送付いただいた場合も、審査は2012年4月1日以降となりますのでご了承ください。

【連絡先および原稿送付先】

2012年1月15日ころに、学会ホームページに掲載いたします。第26回全国大会(於:撰南大学)で報告された方全員(予稿集に報告要旨を掲載された方を含む)に対して、1月15日過ぎに別途原稿送付先を記した原稿募集案内状をお送りいたします。

中部部会 活動報告

1. 見学会

日 時:平成23年9月14日(水)14:00~16:30

見学先:エナックス株式会社

リチウムイオン電池の製造工場(りんくう常滑)

(参考)NPO法人中小企業マネージャー育成塾との共催

環境研究分科会・循環型社会研究分科会

合同研究会開催のご案内

環境研究分科会 主査 坂本 清
循環型社会研究分科会 主査 浅野 宗克

秋色いよいよ濃くなり、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来る 11 月 27 日に標記の合同研究会（主催：工業経営研究学会 環境研究分科会・循環型社会研究分科会）を開催の運びとなりましたのでご案内申し上げます。

何かとご多忙の折とは存じますが、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

〔研究会開催内容〕

1. 開催日時：平成 23 年 11 月 27 日(日) 13:30---16:50 (受付は 13:00 から)

2. 開催場所：.追手門学院大阪城スクエア大手前ホール B

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-20

(追手門学院大手前中・高等学校本館 6 階)

TEL 06-6942-2788 (当日連絡先：090-7888-4612 浅野まで)

- ・京阪電車「天満橋」駅下車 14 番出口から東へ徒歩約 7 分
- ・大阪市営地下鉄谷町線「天満橋」駅下車 1 号出口より東へ徒歩約 7 分
ドーンセンター隣

3. プログラム

13:00 ~ 受付開始

13:30 ~ 13:35 開会ご挨拶：宝塚大学 教授 坂本 清

13:35 ~ 15:00 「クライシスマネジメント・リスクマネジメントと持続可能なマネジメント
—環境経営とCSRの統合理論の構築を目指して—」

神戸国際大学 教授 八木 俊輔

15:15 ~ 16:40 「〈生産的消費と消費的生産の統一〉としての環境経営学

—Environmental Management (環境経営) と Environmental SR (環境
社会責任), そして Sustainable Management (=Business Organization
and Management for Sustainable Environment: 環境経営学) —」

東京富士大学 教授 鈴木 幸毅

17:10 ~ 19:00 交流懇親会 (2,000~3,000円程度)

4. 研究会参加費用：資料代・会場費として当日受付にて 500 円を申し受けます。

下記の参加申込書にご記入の上、**10 月 31 日までに事務局：浅野まで Fax (06-6944-0864) にて**
お知らせ下さい。メールの場合は、munekatsu.Asano@gmail.com へお願いいたします。

お名前	
ふりがな	
所属名	
ご住所	



ご連絡先	電話	
	メール	
ご参加に○ を	研究会・交流懇親会	
上記個人情報は環境研究分科会・循環型社会研究分科会 のご案内のみに使用いたします。		

グローバルゼーション研究分科会活動報告

去る 8 月 20 日（土）～27 日（土）まで、ベトナム、カンボジア企業視察を実施しました。今年は例年より多い 19 名の参加がありました。

ベトナムでのインフレにともなう労働争議の影響もあって、時代は「中国+1」から「中国・ベトナム+1」へと進んでいることが分かりました。

来年の訪問先については、トルコ、ドバイ、ミャンマーといった声が上がっています。これから、受け入れ可能な企業を探りつつ、訪問先を絞り込んでいきたいと思えます。

また来年は、実施計画を会員に周知徹底できるよう工夫していく予定です。

参考に、今年訪問したカンボジアの通勤風景の写真を添付します。



工業経営研究学会 学会通信 73 号（11-8） 2011.11.8

発行人 貫 隆夫 編集担当 那須野公人

学会事務局 明治大学 商学部 風間信隆

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

明治大学駿河台研究棟 839 号室

E-Mail nobutaka@kisc.meiji.ac.jp

ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/asimj/index.html>